

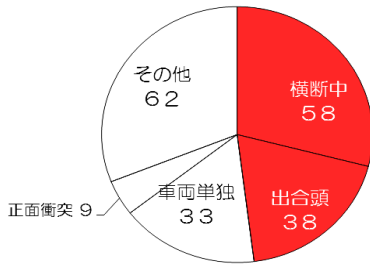
# 愛知県における交通死亡事故の発生状況(平成29年)

## 1 交通死亡事故の特徴

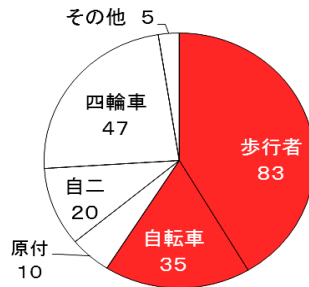
- ・ 横断中と出合頭による交通死亡事故が全体の48%を占めます。
- ・ 歩行者、自転車の交通死亡事故が多く発生しています。
- ・ 被害者の55%が65歳以上の高齢者になります。

愛知県では、平成29年中に交通事故で200名の尊い命が亡くなりました。  
 歩行者や高齢者といった交通弱者の方々が特に被害に遭われていることから、  
 ドライバーの皆様は思いやりのある運転行動をお願いいたします。

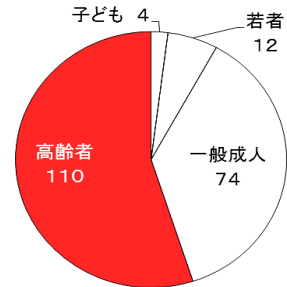
類型別死者数



当事者別死者数



年齢別死者数

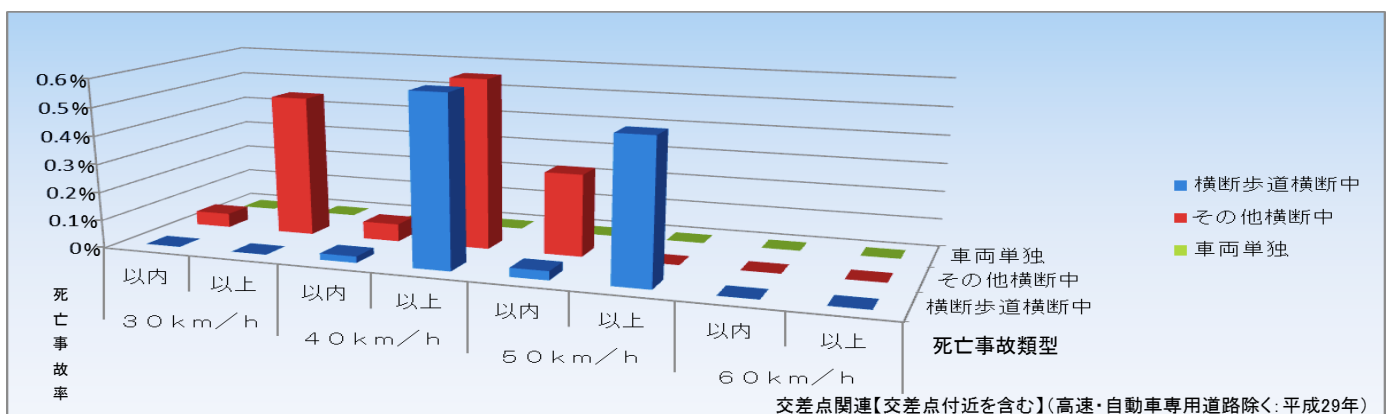
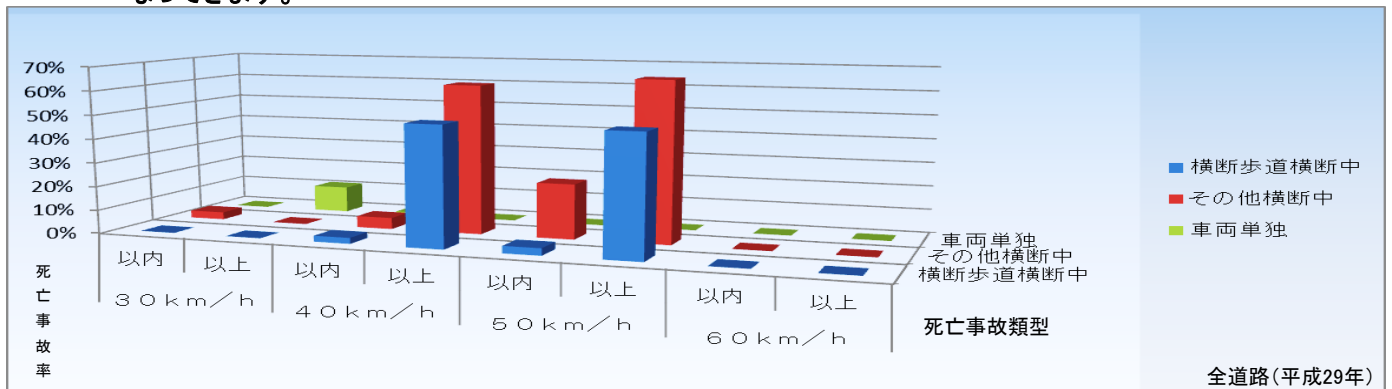


※ 愛知県警察本部交通部交通総務課交通事故抑止総合戦略室統計分析係資料 より

## 2 規制速度の遵守の有無と死亡事故率等との関係について

- ・ 事故の原因を作った方が事故当時、その道路の規制速度を遵守していたかどうかを調べ、死亡事故率(全人身事故のうち、死亡事故に至った比率)と事故の類型との関係を検証したところ、規制速度を超えて運転していた際に死亡事故率は著しく高くなる傾向が認められます。

規制速度を超過した場合とそうでない場合では、死亡事故率が大きく変わります。そのため速度抑制が必要であるとともに、規制速度の遵守が悲惨な交通事故を防止する上でも重要になってきます。



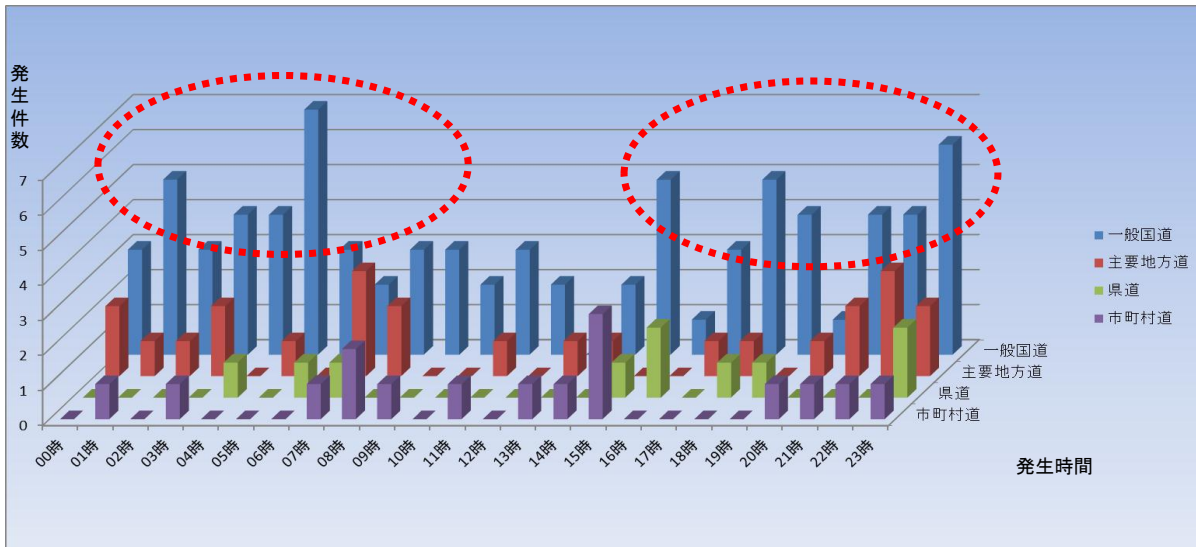
※ 愛知県警察本部交通部交通総務課交通事故抑止総合戦略室統計分析係資料 より

### 3 危険認知速度が高速である路線別事故発生状況について

・ 一般国道、県道、市町村道は深夜帯や通勤時間帯、主要地方道は、深夜帯に高速度による事故発生件数が増加する傾向があります。

➡ 一般国道、主要地方道では、速度が速い車が多く、高速度での事故は被害が大きくなります。特に早朝・夜間の通勤時間帯の定時通行車両のドライバーの方々は、慣れた道であっても慎重な運転をお願いいたします。

高速度(危険認知速度60km/h以上)に起因する事故発生状況



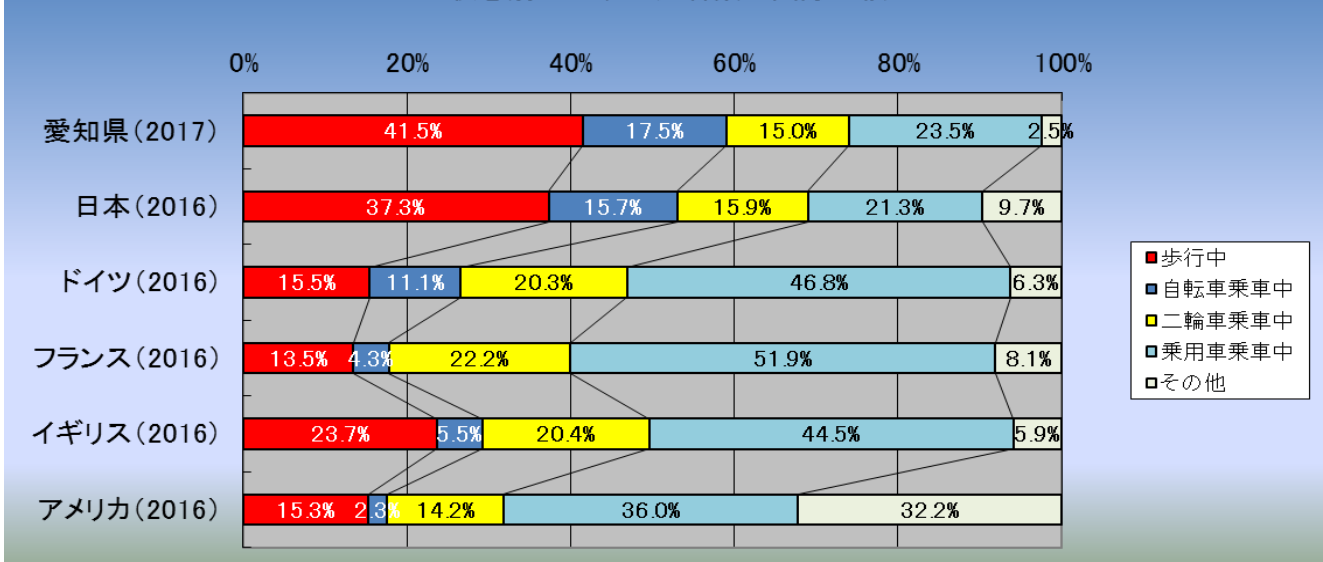
※ 愛知県警察本部交通部交通総務課交通死亡事故抑止総合戦略室統計分析係資料 より

### 4 交通死亡事故の被害者が歩行者である比率について

・ 愛知県における歩行者が交通事故の被害者となるケースは、諸外国の2倍前後となっており、日本国内においても高い割合を占めます。

➡ 愛知県警では、歩行者の交通死亡事故抑止のために、横断歩行者等妨害等違反を中心とした交差点関連違反の取締り強化、生活道路における取締り活動の強化により、交通弱者である歩行者保護を徹底し、車優先の社会から歩行者優先の社会への移行を図ります。また、歩行者の方々も路上では危険が多いことを認識して周囲をよく見て行動するようにお願いいたします。

状態別30日以内死者数の国際比較

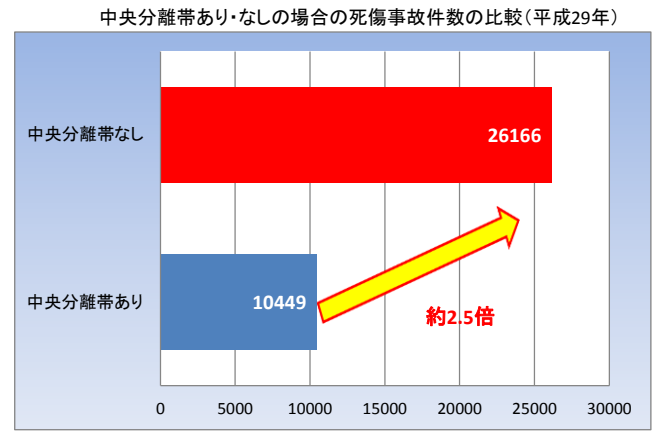
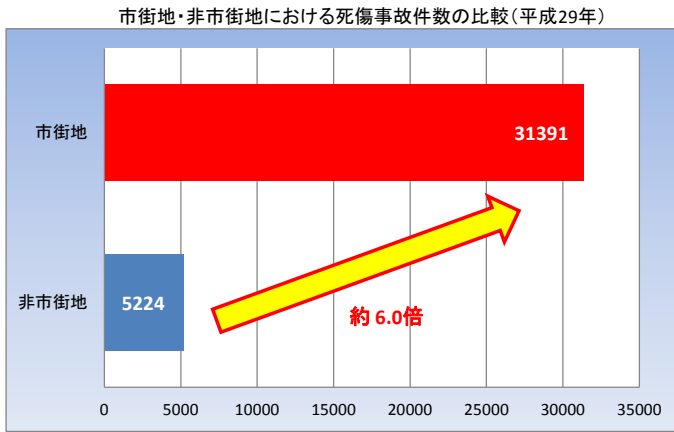


※ 愛知県警察本部交通部交通総務課交通死亡事故抑止総合戦略室統計分析係資料及び警察庁交通局交通企画課資料 より

## 5 市街地・非市街地別及び中央分離帯の有無による交通事故発生状況について

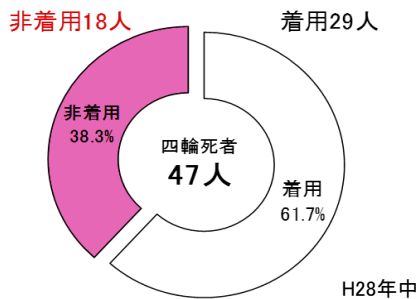
- ・ 市街地における死傷事故件数は非市街地の場合と比較して約6.0倍多く発生しています。
- ・ 中央分離帯なしの場合の死傷事故件数は、中央分離帯ありの場合と比べて約2.5倍多く発生しています。

交通量の多い市街地ではその分、交通事故が発生する危険性が高くなります。  
また、中央分離帯がない場合、対向車線からはみ出して来る車両もあるため慎重な運転が必要です。



※ 愛知県警察本部交通部交通総務課交通事故抑止総合戦略室統計分析係資料 より

## 6 シートベルト着用の有無による交通事故死者数について



区分	運転席	同乗者			合計
		助手席	後部席	その他	
合計	31	10	6	0	47
着用	18	8	3	0	29
非着用	13	2	3	0	18
効果有	7	0	2	0	9

【注】効果有は着用していれば助かったと思われる人

シートベルト非着用者18名のうち、  
9名の人(50%)が着用しておれば命を失わなかったと思われます。

※ 愛知県警察本部交通部交通総務課交通事故抑止総合戦略室統計分析係資料 より

**愛知県では死亡事故の半数以上が  
交差点や交差点付近で発生しています。**

交差点における右折車両と直進車両の事故と  
見通しの良い交差点における事故の詳細は、  
次のページを参照してください。

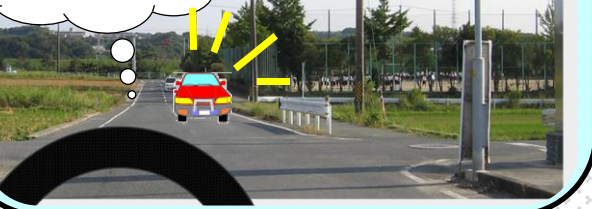


# 自転車・バイクとの右折事故に

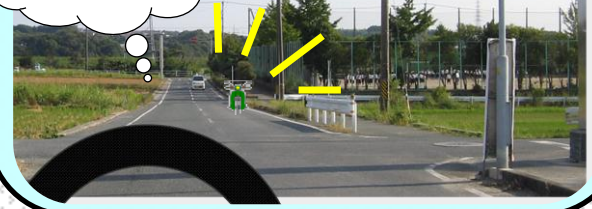
## 注意！！

同じ速度・距離でも？

対向車が  
通り過ぎるまで待とう



今ならバイクよりも  
先に右折できるぞ



### Point!



車体が小さな  
自転車やバイクは、実際よりも  
**遠く・遅く** 感じがちです

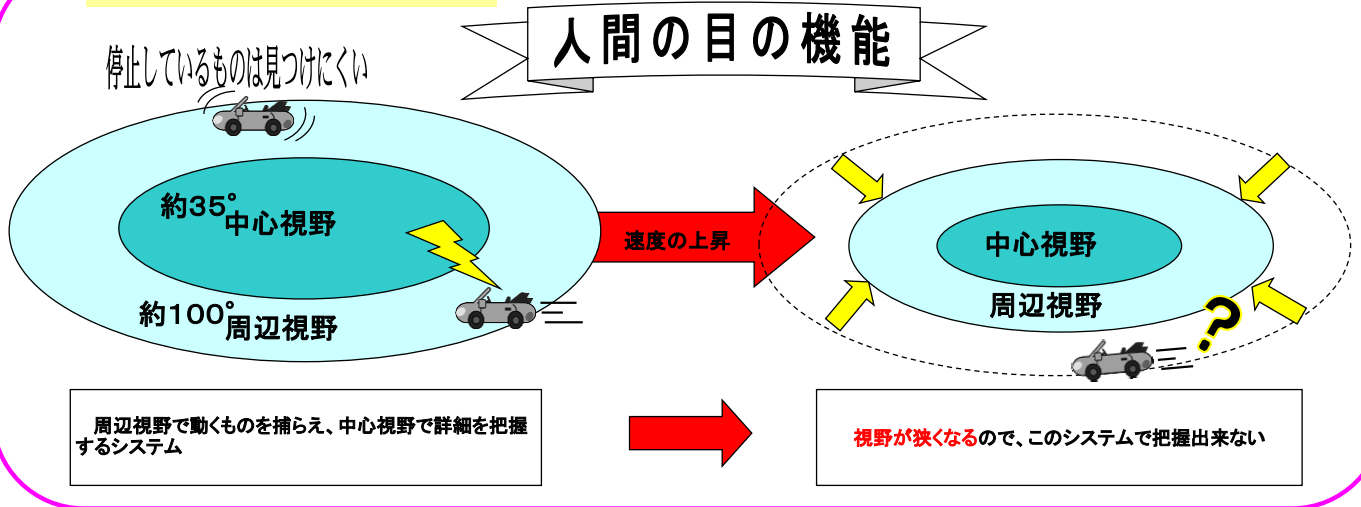
### ライダーの方へ

対向車があなたの姿や  
速度を**誤解**しているかも！？

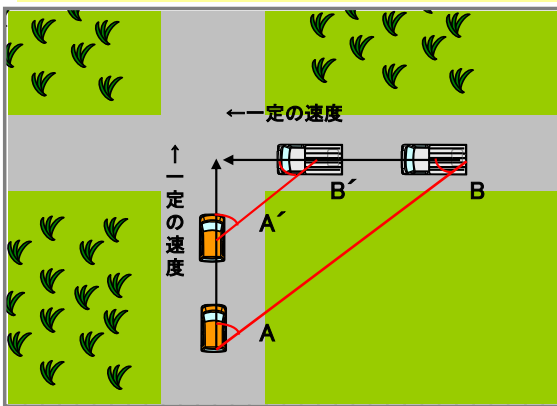


# 「見通しの良い交差点」ほど注意!!

## 原因1：人間の視野



## 原因2：コリジョンコース現象



### 「コリジョンコース現象」とは?

人間の目は、

- ・ 動いているもの比べて停止しているものを見つけにくい
- ・ 中心視野よりも周辺視野に映っているものを認識しにくいという特性から、交差道路の車両同士が衝突する地点に向かって同じ速度で走行した場合、どんなに視界が良好でも、かなり接近するまで相手を認識しにくい現象をいいます。

**Point!** 交通量が少なく、景色の変化の少ない交差点では  
減速し、意識して左右の安全確認をしましょう

### その他の原因と事故防止対策

- ・ 交差道路の幅が狭く、自分の進路の方が幅が広く優先道路に見える場合があります。  
→ 相手も同じように見えており、注意が必要です。
- ・ 加齢に伴う身体機能の変化により、視野が狭くなる傾向があります。  
→ 意識して顔を振って、しっかりと左右の安全確認を行きましょう。

